

全保障の強化を柱の一... 備蓄の放出は、凶作や輸入途絶... 同省は、こうした国内に存在する官民の備蓄を総合的に把握して... 坂本農相は、「新たな備蓄は輸入リスク低減の観点から、可能な限り国産品で対応することを基本的な考え

サツマイモで腐敗症状

南九州で発生 農水省、原因究明へ

高崎・鹿児島両県のサツマイモ畑で、原因不明の腐敗症状の芋(塊根)が相次いで見つかった。原型をとめないほど腐敗するケースもあり、農水省は緊急課題に設定し、19日には原因究明を進める組織を決定。2025年3月までに防除策を示す方針だ。同省は「健全な苗の使用や土壌消毒など基本対策は広く効果があ

農業被害90力所超で首相 能登地震 農業再開へ支援厚く 岸田文雄首相は19日、能登半島地震に関する政府の非常災害対策本部会議で、被災地に向けた支援や農林水産関係に対する支援を、手厚く措置するよう、関係省庁に指示した。農水省のまとめでは、農地と、水路やため池といった農業用施設への被害は、計940

被災自治体の 復旧国が代行 政府は19日の閣議で、能登半島地震を大規模災害復旧法に基づく「非常災害」に指定する政令を決定した。被災自治体が管理するインフラの復旧工事を国が代行できるようにする。岸田文雄首相は、首相官邸で開かれた非常災害対策本部会議で「既に財政面での措置を講じているが、

被災自治体の 復旧国が代行 20年の熊本豪雨に続き 4例目となる。また被災地では、早期の復旧・復興に向け、所有者不明家屋の解体撤去をどう進めるかが課題になる。首相は、そうした物件に対応した民法の制度の活用を含め、対応策の検討を関係省庁に指示した。能登半島地震を巡っては、政府は既に「激

腐敗症状も確認されてきたが、県は、茎根腐細菌病によるものと、糸状菌の「フザリウムソラー」によるものと特定した。茎根腐細菌病は、茎や葉柄が腐敗するなどの特徴が、「フザリウムソラー」による病害は茎にだいたい色の粒が形成されるなどの特徴がある。

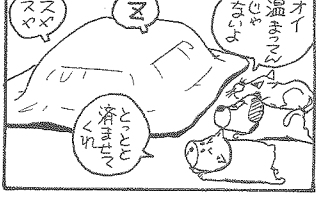
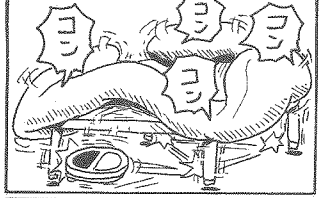
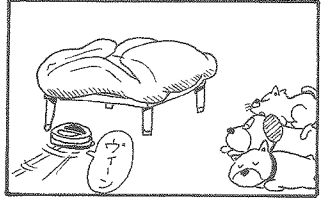
政府は19日の閣議で、能登半島地震を大規模災害復旧法に基づく「非常災害」に指定する政令を決定した。被災自治体が管理するインフラの復旧工事を国が代行できるようにする。岸田文雄首相は、首相官邸で開かれた非常災害対策本部会議で「既に財政面での措置を講じているが、

被災自治体の 復旧国が代行 20年の熊本豪雨に続き 4例目となる。また被災地では、早期の復旧・復興に向け、所有者不明家屋の解体撤去をどう進めるかが課題になる。首相は、そうした物件に対応した民法の制度の活用を含め、対応策の検討を関係省庁に指示した。能登半島地震を巡っては、政府は既に「激

し、これらの実施徹底も訴える。 サツマイモの塊根の腐敗を引き起こす病害は、基腐病をはじめ複数ある。高崎県では、農家から寄せられた23年4月から現在まで40件の相談のうち、基腐病によるものではないとみられる腐敗症状が20件ほどあった。「地

12月米相対続伸、需給締まる 農水省は19日、2023年産米の12月の相対取引価格・数量を公表した。全銘柄平均の60ヶ価格は前月比1%（150円）高の1万5390円と前月に続き上げた。需給にタイト感が出ており、値上げ感のある銘柄を中心に、兵

入エズ運河の 通航4割減少 フォーシ派攻撃で 「ワシントン時事」国際通貨基金(IMF)は18日、イエメンの親イラン武装組織フォーシ派が紅海周辺で商船への攻撃を繰り返していることを背景に、スエズ運河経由の船舶通航量が4割近く減少したとの推計を発表した。人工衛星の情報から物流を監視する、IMFの「ポートウォッチ」によると、紅海と地中海を結ぶスエズ運河の通航量は1日から16日まで、前年同期比37%減少した。一方、南アフリカ湾の喜望峯経由の通航量は前年同期の水準を54%上回った。スエズ運河から迂回(うかい)する船舶の増加がうかがえる。



「ノウフク」受賞団体一覧 農水省「ノウフク・アワード2023」の、グランプリ以外の受賞団体は次の通り。

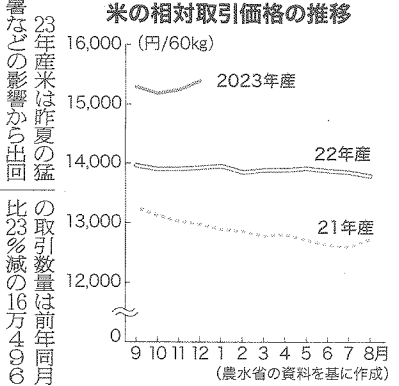
農水省「ノウフク・アワード2023」の、グランプリ以外の受賞団体は次の通り。

農水省「ノウフク・アワード2023」の、グランプリ以外の受賞団体は次の通り。

農水省「ノウフク・アワード2023」の、グランプリ以外の受賞団体は次の通り。

農水省「ノウフク・アワード2023」の、グランプリ以外の受賞団体は次の通り。

農水省「ノウフク・アワード2023」の、グランプリ以外の受賞団体は次の通り。



入エズ運河の 通航4割減少 フォーシ派攻撃で 「ワシントン時事」国際通貨基金(IMF)は18日、イエメンの親イラン武装組織フォーシ派が紅海周辺で商船への攻撃を繰り返していることを背景に、スエズ運河経由の船舶通航量が4割近く減少したとの推計を発表した。人工衛星の情報から物流を監視する、IMFの「ポートウォッチ」によると、紅海と地中海を結ぶスエズ運河の通航量は1日から16日まで、前年同期比37%減少した。一方、南アフリカ湾の喜望峯経由の通航量は前年同期の水準を54%上回った。スエズ運河から迂回(うかい)する船舶の増加がうかがえる。

Advertisement for a product that reduces the burden of middle back posture. Text includes '中腰姿勢の負担が大幅に軽減!!' and '作業を助ける'.